

2024 9/10

No.2218

毎月第2・第4火曜日発行

政経 かながわ

一般社団法人
— 神奈川政経懇話会 —



大山阿夫利神社（伊勢原市大山）の秋季例大祭が始まり、初日の8月27日には、神様を大山中腹の下社から麓の社務局に迎える神事「お下り」が行われた。



contents

視点点描	
外国人観光客は戻ったが	3
特集	
ハリスvsトランプ	4
女性・黒人・アジア系大統領誕生なるか 分厚いガラスの天井	
政治双眼鏡	
「自民変える」本気ですか？ 総裁選、改革徹底なら党 `破壊、も	8
経済双眼鏡	
選択的夫婦別姓の早期実現を 国際標準、女性活躍に不可欠	9
本郷和人 歴史の舞台をゆく	
「百万石のお墨付き」の真意	10
神奈川景気データファイル	
	12
かながわTODAY	
8月の主な経済ニュース	14

事務局だより

◇2024年9月定例講演会
9月30日(月)午後1時30分
～3時

崎陽軒本店(横浜駅東口)
講師:崎陽軒代表取締役社長・
野並 晃氏
演題:「シウマイ弁当70周年～
崎陽軒の七つの?(秘密)」

◇2024年10月定例講演会
10月30日(水)午後1時30分
～3時

メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師:慶應義塾大教授・
渡辺 靖氏
演題:「米大統領選の行方～混
迷深まる超大国はどこへ」

◇2024年12月定例講演会
=シンポジウム・交流会

12月16日(月)午前11時～
午後1時30分
メルヴェーユ(桜木町駅近く)
講師:共同通信社政治・経済・
外信部長(予定)
演題:「2025年の動向を読む」

※11月定例講演会の日時・
内容は決まり次第、お知らせ
します。

視点 点描



外国人観光客は戻ったが

日本政府観光局によると、7月に日本を訪れた外国人客は329万2500人と、月間での最多を記録した。1月からの累計は約2107万人となり、過去最速で2千万人を突破。円安を背景にインバウンド（訪日客）は回復基調にあり、今年はコロナ禍前の2019年に記録した3188万人を上回る可能性が高い。

振り返れば、世界中で未知のウイルスとの闘いが始まったのは4年前。政府の水際対策により、21年の訪日客数は25万人まで急減。外出自粛が呼びかけられ、箱根や横浜、鎌倉といった県内の観光地も大きな打撃を受けた。再びにぎわいを取り戻した今となつては、もう随分と昔のことのようにも感ぜられる。



外国人観光客らでにぎわう箱根・大涌谷
=7月4日

言うまでもなく、観光産業は運輸、宿泊、飲食、サービスなど裾野が広い。観光客が多くの消費額を落とすことで、地域経済の活性化が期待される。

ただ、多くの観光地にとって、現在の状況は手放しで喜べないようだ。一つは人手不足。コロナ禍で離職していった働き手が戻ってきていないという。

人手不足の解消に向け、賃金などの待遇改善は有効だが、先日、取材した県西部の事業者は「2年

連続で5%の賃上げを実施したが、それでも人が集まらない」と嘆いていた。少ない人数でのオペレーションのため機会損失も生じているといい、悩ましい限りだ。

観光客の増加に伴い、混雑や道路渋滞、マナー違反といったオーバートリズム（観光公害）も課題となっている。注目されるのは、箱根DMO（箱根町観光協会）の取り組みだ。スマートフォンからも確認できる観光デジタルマップを作成。交通や店舗の混雑状況を可視化し、混雑を避けた周遊コースを提案している。

デジタル技術の活用は観光地が抱える諸課題の解決につながるだろうが、一企業の努力には限界がある。官民、あるいは地域の事業者の連携によって住民と観光客が共生できる道を探っていきたい。

（神奈川県経済部長・

岡本 晶子）